

選手並びに保護者(応援者)の皆様へ

第64回スーパーファイティング全日本空手道選手権大会 《参加に関する諸注意》

以下の注意事項を確認して、大会に参加してください。

1. 服装・用具について 《公式大会では、**不動会公認の空手衣・防具**を着用してください》
 - ・上衣の袖の長さは、手を下ろした時に手首より長いものは認められません※肘より短いものも認められません
 - ・下衣の長さは、足首程度の長さのものを着用してください
 - ・上衣の袖と下衣の裾は、外側に折り曲げてはいけません
 - ・空手衣の下にインナーシャツを着る場合は、空手衣の袖から出ない無地の白色インナーシャツを着用してください
 - ・ファールカップは、下衣の中に着用してください。(ファールカップを着用してから下衣を履く)
 - ・練習用防具には、緩衝素材が多く使用されているものや攻撃力を高めるために硬質素材を使用しているものなど様々あります。公式試合では、用具による性能差を無くするため公認印《不動会マークまたはSFマーク》のある用具を使用してください
 - ・違反した場合は、**反則または失格**となる場合があります
2. 大会参加における眼鏡の着用について
 - ・公式の試合においては、原則眼鏡を着用して試合に出場することはできません。但し、ゴーグルタイプの眼鏡【眼窩(がんか)周辺と眼鏡フレームがフェイスパットなど面で接していて、且つズレ落ちを防止するベルトがある眼鏡】のみ上段攻撃の無い部門で着用を認めています。⇒[ゴーグルタイプ眼鏡の参考画像\(PDF版\)](#)
3. テーピングについて
 - ・怪我等によりテーピングを施して試合に出場する場合は、審判員に許可を得てください
 - ・強化を目的としたテーピングは認められません
4. その他
 - ・爪を短く切り、指輪、ネックレス、ピアス、ミサンガ等の金属類の着用は、相手選手を負傷させる可能性があるため試合中は身に着けてはいけません
 - ・ヘアバンドについては、審判員の赤選手・白選手の誤認を防ぐため、赤または白のヘアバンドは着用できません。また、**上段攻撃**のある部門は**着用不可**となります

5. ゼッケンについて
 - ・当日に試合を行うコートで「シールタイプ」のゼッケンが配布されます
 - ・胸防具を装着する部門または選手の方は、ゼッケンは両肩口(上腕部あたり)に貼り付けてください。**ユース男子、一般女子、一般男子の部門は背中**に1枚貼り付けてください。



ユース男子・一般女子・一般男子の部門

6. コートマナーについて
 - ・選手はコートの入退場の際に一礼をしてください
 7. 当日の体格測定について
 - ・ユース男子、一般女子、一般男子の部門の選手は当日体格測定を実施いたします。
 - ※当日、最高持ち点を超えた場合は出場できません
 - ※体格測定についての時間と場所の詳細は【[大会情報\(コート案内図\)](#)】に記載されています
- ⇒その他大会情報(トーナメント等)は随時不動会ウェブサイトにて公開しています

《試合規定》

本大会は、下記の試合規定で開催いたします。

本試合規定で明記されていない事柄はスーパーファイティング空手道組手競技規定に準じます。

試合規定

- ≫ 試合時間は 1 分です
- ≫ 引き分け・再試合はありません
- ≫ 敗者復活戦はありません
- ≫ 審判構成は [監査 1 名、主審 1 名、副審 3 名、時計・記録 2 名] の 7 名です
- ≫ 赤選手は赤ひもを胴防具（背中側）に括ります※胴防具のない部門は帯（背中側）に括ります

組手のルール

1. 競技時間は、本試合 1 分間です。
2. 勝敗の決まり方…審判員の判断によって、試合は以下のいずれかの結果で勝敗が決まります
 - ≫ ダウン→攻撃によるダメージによって、試合が続けられない状態
 - ≫ 力量差→組手技量の差によって、試合継続が危険だと判断された場合
 - ≫ 戦意喪失→戦う意思を喪失したと判断できる言動が見られた場合
 - ≫ TKO→相手の攻撃または偶発的な事故によって負傷し、試合継続が危険だと判断された場合
 - ≫ 棄権→選手自らが棄権を申し出た場合
 - ≫ 欠場→選手が欠場している場合
 - ≫ 反則→一試合で重反則または反則行為を 2 度繰り返してしまった場合
 - ≫ 判定（副審による優劣判定）→競技時間内に上記のいずれかで勝敗が決まらなかった場合
3. 副審による優劣判定について…判定を行う際、副審の優劣判定は以下の順で決められます
 - ≫ 判定順位 1…ポイント（有効打）数の多い選手が優勢選手となります
 - ≫ 判定順位 2…ポイントが同数の場合、以下の項目でより優れていた選手が優勢選手となります
 - ・ 試合運び→試合の流れを主体的に作っていた
 - ・ 積極性→気合いに優れていた/果敢に攻めていた
 - ・ 技の切れ→技の巧緻度・スピード・パワーが優れていた
 - ≫ 判定順位 3…ポイントが同数且つ、判定順位 2 の各項目においても優劣がつかなかった場合、副審による合理的優劣基準（反則回数が少なかった、場外に出た回数が少なかったなど）で優劣を判定します
4. ポイント（有効打）とは…副審は、以下のような攻撃をポイント（有効打）としてカウントしています
 - ≫ 突きや蹴りによる中段攻撃のうち、タイミングよく、ガードされず強くヒットした攻撃

本大会、ユース男子と一般男子の部門は蹴りによる上段攻撃が認められています

 - ※上段・・・鎖骨より上、顔面、頭部、頸部（首）
 - ※中段・・・骨盤より上、鎖骨より下の胴体部分のうち、背中以外
 - ※下段・・・足首より上、骨盤より下

（下段への攻撃は全部門で認められていますが、ポイント（有効打）にはなりません）

- ※ポイント（有効打）は、審判員が確認できたもののみを認め、推定で認めることはできません

5. 反則について…以下の行為は反則です

反則は、2回で負けとなり、重反則は1回で負けとなります

- ≫手、肘、腕による上段攻撃
- ≫足による上段攻撃(認められている部門は除く)
- ≫頭突き
- ≫股間への攻撃
- ≫故意による関節等への危険な攻撃(相手が膝を上げてブロックした場合は除く)
- ≫つかみ
- ≫押し
- ≫抱え込み、押さえ、引き手など相手の動きを拘束する行為
- ≫背後への攻撃
- (流れの中で止むを得ないものは注意にとどめる。攻撃を止める事ができるにもかかわらず背後へ攻撃したと認めた場合は反則とする。)
- ≫倒れた相手への攻撃
- ≫主審が試合を停止した後の攻撃
- ≫言動、服装、その他不適切な行為

※反則行為により試合が進行できないほどのダメージを相手に与えた場合は、重反則となります
※ポイント(有効打)と同様に、反則は審判員が確認できたもののみを認め、推定で認めることはできません

6. 選手不在時の大会特別措置について

≫各部の前半・後半それぞれの「一回戦」に限り、選手が大会会場に不在の場合は、その時間に当該コートで行われるすべての一回戦が終了するまで、当該試合の実施を一時的に見合わせる猶予措置をとります。ただし、猶予後も選手が到着しない場合は、欠場として結果を確定し、再試合は行いません。

各カテゴリーでは以下の防具類を着用してください

部門	胴防具	拳プロテクター	スネ当て	ヘッドギア	ファールカップ
幼年女子 小学女子 中学女子	○	○	○		任意
一般女子	任意※2				
マスターズ女子	任意※2				
幼年男子 小学男子 中学男子	○	○	○		○
ユース男子			○※3	○	
一般男子			○※1※3		
マスターズ男子	任意※2	○	○		

- ※1 一般男子は決勝戦のみ、スネ当てを外して試合を行います
- ※2 一般女子・マスターズ女子・マスターズ男子の胴防具の着用は任意となります
- ※3 ユース男子と一般男子の部門においては、安全のため爪が露出しない「一般用」を着用すること

違反した場合は、反則または失格となる場合があります
公正公平な競技を行うため、ルールを遵守してください